

東京都の福祉保健予算

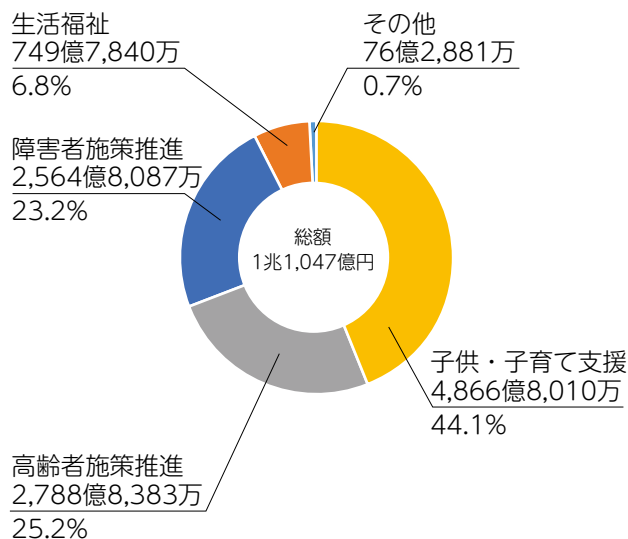
東京都の令和6年度予算は、「変化する社会情勢の中、東京・日本の輝かしい未来を切り拓くため、産業や経済、社会の構造転換に挑み、一人ひとりが輝く明るい『未来の東京』を実現する予算」と位置付け、編成されました。

福祉局・保健医療局では、都民の生命と健康を守り、地域での自立を支える利用者本位の福祉を実現するため、大都市特有のニーズに即した様々な取組を強化するとともに、誰もがいきいきと活躍できる都市の実現に向けた施策展開を強力に推進していくという方針で編成しました。

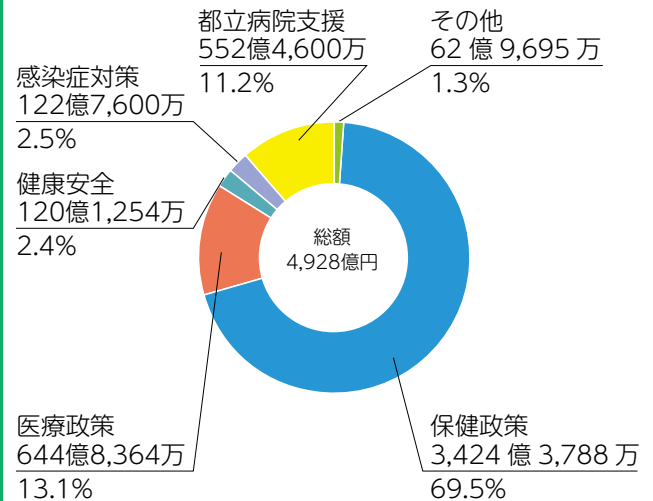
この結果、福祉局予算は1兆1,046億5,200万円、保健医療局予算は4,927億5,300万円となり、東京都予算（一般会計総額8兆4,530億円）に占める割合は、福祉局13.1%、保健医療局は5.8%となりました。また、「福祉と保健」に関する予算の都一般歳出に占める割合は、25.3%となっています。

○一般歳出は、一般会計のうち、公債費及び特別区財政調整会計繰出金、地方消費税交付金など税の一定割合を区市町村に交付する経費（税連動経費）などを除いた、いわゆる政策的経費のこと。

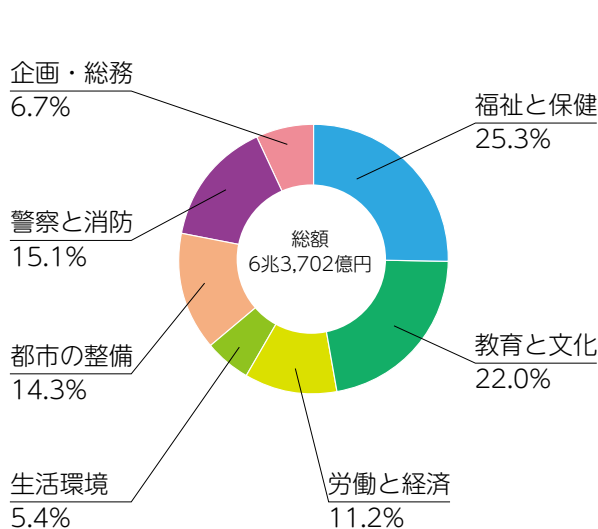
令和6年度福祉局予算（一般歳出）



令和6年度保健医療局予算（一般歳出）



令和6年度東京都予算（一般歳出）



当初予算一般歳出額と、それに占める「福祉と保健」の構成比の推移

